

平成26年度 第6回教育研究評議会議事録

日時 平成26年10月15日(水) 14:30～16:20
場所 事務局大会議室、総合研究棟10階会議室
出席者 伊東、石井、碓氷、浅利、前田、柳澤、木村、東郷、中野、鈴木、
今野、寺村、平岡、梅澤、谷、菅野、酒井、小西、藤井、塩尻、加藤、
青山、佐古、星野、中山、糠谷、河合、鳥山、永津、渡邊、中村、
三村、朴、高松の各評議員
陪席者 鈴木、櫻本の各監事
佐藤、杉山の各学長補佐

冒頭に、議長から、本学の事務職員である今井隆真監査室長が、10月9日に、研修先である安中市において、急逝された旨の報告があり、前田事務局長から、状況説明があった後、全員で同氏の冥福を祈った。

議事に先立ち、議長から、10月1日付けで大学院理学研究科長に就任された塩尻評議員、及び新たに評議員となり、本会議の構成員となった加藤評議員の紹介があった。

続いて、報告事項4「博士課程学生・ポスドクのキャリアパスに関わる教員アンケート結果について」に関連して、村井博士キャリア開発支援センター特任教授に陪席願う旨の発言があり、これを了承した。

I 議事録の承認について

平成26年度第5回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学電子リソース検討委員会規則の制定について

議長から、10月1日に開催された第6回企画戦略会議において、設置が承認された「静岡大学電子リソース検討委員会」に係る規則の制定について提案があり、高松委員から、設置に向けた検討経緯や委員会の役割等について、資料1により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

2 静岡大学浜松キャンパス共同利用機器センター規則等の一部改正について

議長から、浜松キャンパス共同利用機器センターに主任センター員を配置しないこと等に伴う静岡大学浜松キャンパス共同利用機器センター規則等の一部改正について提案があり、碓氷委員から、資料2により説明があ

った後、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学地域法実務研究センター（仮称）設置準備委員会設置要項の制定について

議長から、10月1日に開催された第6回企画戦略会議において、設置が承認された「静岡大学地域法実務研究センター（仮称）設置準備委員会」に係る要項の制定について提案があり、石井委員から、資料3により説明があった。

委員から、第3条第1項第3号に規定されている「人文社会科学部から選出された教員1人」について、法学科から教員が選出されることを想定しているとの説明であるが、人文社会科学部では、法務研究科の問題は、法学科だけではなく、学部全体に関わる問題と捉えているため、学部を代表する責任ある立場の複数名の者が、参画すべきではないかとの意見があった。

審議の結果、同条項については、人文社会科学部からの要請があれば、今後、修正することを前提として、原案どおり承認した。

また、委員から、当該センターに参画する教員の所属のあり様について、慎重に検討願いたい旨の発言があった。

4 浜松ホトニクス株式会社との教育・研究連携に関する包括連携協定の締結について

議長から、浜松ホトニクス株式会社との教育・研究連携に関する包括連携協定の締結について提案があり、資料4により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

5 ハノイ国家大学外国語大学（ベトナム社会主義共和国）との大学間交流協定の締結について

議長から、ハノイ国家大学外国語大学との大学間交流協定の締結について提案があり、鈴木委員から、締結予定校の概要やこれまでの交流実績等について、資料5により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

6 サンクトペテルブルグ国立工業大学（ロシア連邦）とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について

議長から、サンクトペテルブルグ国立工業大学とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について提案があり、鈴木委員から、締結に至る経緯や今後の学生交流計画等について、資料6により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。